

科目名		データベース応用(DataBase Application)							
学年	専攻	単位数	必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	経営情報工学専攻	2単位	選択	演習	前期 2時間/週	90時間			
担当教員		【常勤】内田 保雄							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	XML文書の記述方法からXSLによる文書操作、さらにDOMを使った高度なJavaプログラミングまで、XMLアプリケーションを構築するための基本技術を修得することが目的である。 XML言語の概要を理解し、XML言語の開発環境が利用でき、基本的なXML文書およびアプリケーションが構築できるようになるのが到達レベルである。								
学習・教育目標	(D)①	JABEE基準1(2)	(d)-(3)						
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	データベース論								
教科書	なし								
補助教材等	Webで教材を提示する。								
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	総合評価割合	40	40		20				100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	○		○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	◎		◎					
汎用的技能 【論理的思考力】				○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
HTML、ネットワーク、データベースの知識が必要である。 重要な事項について練習問題を課す。練習問題を解いて実装することで、自身の理解度を把握する。 プログラムを丸暗記するのではなく、処理の仕組みを理解することが重要である。 XML言語のリファレンスマニュアルを読み解くことが理解の手助けとなる。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 授業の目的・意義	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・授業の目的と意義について理解できる。	
2	XMLの利用環境	・XMLの利用環境を理解でき、使用することができる。	
3	XMLとデータ	・XMLとデータの関係について概要を理解でき、図示できる。	
4	XML文書の形式	・XML文書の形式について概要を説明できる。	
5	XMLの要素	・XMLで使われる要素について概要を理解でき、使用することができる。	
6	XMLの属性	・XMLで使われる属性について概要を理解でき、使用することができる。	
7	XMLの構造	・XMLの構造について概要を理解でき、図示できる。	
8	XML Schemaと妥当な文書	・XML Schemaと妥当な文書との関係について理解でき、概要を説明できる。	
9	XSLの概要	・XSLの概要について理解し説明できる。	
10	スタイルシート	・スタイルシートの仕組みが理解でき、作成できる。	
11	XML文書のレイアウト	・XML文書のレイアウトについて概要を理解でき、使用することができる。	
12	XSLの操作	・XSLの操作について理解し説明できる。	
13	XSLの応用	・XSLの応用について理解し説明できる。	
14	DOMの基本	・DOMについて理解でき簡単なアプリケーションを作成できる。	
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総学習時間数			90 時間
講義			25 時間
自学自習			65 時間